



第1章 基礎編

1.7.11 波浪アンサンブル予報システム

波浪アンサンブル予報システム

運用中の波浪アンサンブル予報システムの概要

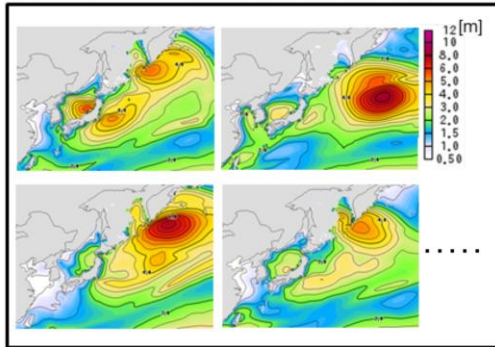
波浪アンサンブル予報システム	
タイプ	MRI-III (第3世代波浪モデル)
計算領域	地球のほぼ全海域 75° S~75° N 180° W~0° ~180° E (全周)
格子間隔	緯経度0.5度
タイム ステップ	移流項 10分 外力項 30分
スペクトル 成分	900成分 (25周波数×36方位) 周波数成分：0.0375~0.3Hz；対数分割 方位成分：10度間隔
外力	全球EPS (51メンバ) 6時間毎
予測時間	00/12UTC: 264時間

波浪アンサンブル予報システムは、モデル及び初期値は全球波浪モデルと同じで、初期摂動は加えていない。大気外力として全球アンサンブル予報システムで予測されたの51メンバーの風を用いて、各メンバーに対応する予測計算を1日2回(00, 12UTC)行っている。

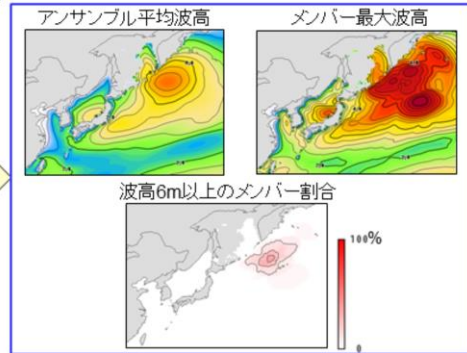
波浪アンサンブル予報とは

- 複数の予測結果の統計処理により、予測の信頼度や不確実性を
知ることができるほか、顕著な高波が発生する可能性を把握する
ことができる。

波浪アンサンブルモデルによる予測例(現在: 51メンバー)



予測結果から得られる情報の例



多数の予測結果を平均することで(アンサンブル平均)、予測時間が長いところでは1つの予測結果よりも平均的な予測精度がよくなるだけでなく、予測の信頼度や不確実性、顕著な高波が発生する可能性などを把握することも可能になる。